

新山協ニュース

第7号 新潟県山岳協会 発行者 鈴木敏雄



〔守門山〕 栃尾市大橋善作氏提供

父親的リーダーに期待する

新潟県山岳協会長

室賀輝男

あけましてお目出度うご座
居ます。慢性的不況、円高、
日中国交回復、国内政情不安
と多難な昨年でしたが、各位
には山で鍛えた強靱な体力と
不屈の根生で夫々の職責を果
され、新年を迎えられたこと
を心からお慶び申し上げます。
協会も皆さんの御協力で年
間行事も予定通り進めること
が出来ました。特に長野国体
では上越地区の積極的な協力
で県予選会、北信越ブロック
予選を実施、全種目の本大会
参加が実現しました。関係各
位に改めて御礼を申し上げます
共に、立派な成績を上げた選
手、役員の御苦労に心から敬
意を表しますと共に、此の経
験をふまい、国体山岳競技の
主管責任団体として選手強化
に取組みたいと思います。又、
一般行事の中で新しく取組み
ました婦人部の活動の成果は

特筆され、今後更に協力して
大輪の花に仕立てたいもの
です。
尚、昨暮に協会の創始者
玄先生が、日本山岳会の名誉
会員に推されたことは、皆さ
んと共に心からお慶び申し上
げ益々のご活躍とご健康を祈
りたいものです。さて、今年
の正月も県内の多くの岳友が、
海外の山へ、又、国内の冬山
合宿に入られる報告を受けま
した。例年新聞のニュースを
賑し、社会問題にされる遭難
事故も、天候の安定と小雪が
幸して少かったことは何より
明るい正月でした。皆さんの
素晴らしい成果の報告を期待し
ます。山で迎える正月は岳人
でなければ知り得ない醍醐味
であり、又、多くの山岳会が
この冬山合宿を通して、精神
的、肉体的、技術的なトレー

ニングの場とし、用具の発達と共にその成果も驚異に値するものがあります。然しその反面も謙虚に見直さねばならぬ事も少くありません。冬山の山麓をあづかる友人が、近年の合宿が無秩序でリクレイション的色彩が濃く、厳しい冬山への取組に計画の段階から狂っていると指適する。大衆化の進んだ過程から生まれた現象とも思われるが、精神的ひ弱さが目立ち、重荷に耐える体力、根性にも欠け、目先の軽量化の余り着替、予備食も持たず、雨や雪の日には停滞し、ラジウスが故障すれば火も焚けず引返す、一度事故を起せばお手上げのチームが少くないと云う。人命尊重も自然保護もわかるが、その限度や安全性は山男なら心得ているはずだ。そこに生活技術があり、応用技術がある。しっかりしたリーダーの指導があれば厳しい冬山に、その危険性をよく認識して対処し、自らの行動に万全を期すると共に、万一の場合の自己救助

体制も確立出来てはいるはずだと付け加える。たしかに一緒にスマートになり、知識、服装は立派であるが、基礎技術に欠け、寝だめ、食いだめ、ポッカー力旺盛なホレボレする山男にお目にかかることが少なくなった。家庭での父親的基礎訓練、体力づくりの必要性が山岳会でも急務となつてゐる。父親が一般家庭での主の座から滑り落ちたと云われながら久しい。然し、昨今の如く先が読めず、不況、不安定な時代がつづく、やはり頼りになるのは父親、父親的リーダーが求められる。吾々の山岳会に於いても民主的に過ぎて、ややもすると父親的リーダーの存在がうすれ、会員の甘えが先行し、思わぬ破局に落ち込みかねない。今の繁栄と安全登山のために初心に戻って指導に当たってもらいたいものだ。登山で一番大切な事は経験と体験であり、読んだり聞いたりでは上達がない。今年も一歩一歩地味で着実に活躍を祈ります。

社団法人日本山岳会越後支部 藤島 玄支部長

日本山岳会名誉会員に推薦

齋 藤 平 七

玄山人こと藤島越後支部長は、七四才の寿齢を重ねてなおおかくしゃくと、西に東に悠々の山行を愉しみ、精神的な文筆生活を続けておられますが、このたび多年の御精進が実を結んで、日本山岳会の名誉会員に推せんされました。

部長としては、かつて例のないことで、日頃支部長と寝食を共にしてきた越後の岳人にとっては、誠に欣快至極の朗報と存じます。

十二月十七日(日)には厚生年金会館において、県内外より九十余名の支部会員が集まり、支部長の喜びをわが喜びとし、増々の御健勝と御活躍を希って盛大な祝杯をあげました。

審査結果が定量的に示されるという背景は、結果的に県代表の最終選考に於て、従来と異値の過程を少なからず求められることになり、選手の選考の基準と定量的審判結果との関係を、よりクリアーにし、協会として指導を急ぐ必要のあることを教訓として残した。

競技会全般について、その他の特筆すべき内容をまとめると以下の通りとなる。

報

告

第三十三回国体並びに 同予選会報告

直江津山岳会

五十嵐

正

(会場)

◎国体県予選会

第三十三回国体県予選会は

予選会は競技史上初の、縦走、登攀、踏査の三種目を、

米山寺／城山間の山村巡

五月六日～七日の両日にかけて、

少年男女成年男女の四種別を

登攀競技

柿崎町米山並びに同山麓

をもって実施され、競技の運営

城山北西面の岩場

一帯を会場に実施した。

面全てについて新らしいステ

縦走競技

下牧小学校、米山山頂

(新潟工)、渋川益夫(三

時

条東)

(参加者)

少年女子

選手……十七パーティ(五

皆木幸江、弥田美佐子、中

十四名)

村葉子、高橋浩子(以上三

オープン参加……十名

条東)。

競技役員……六十七名

計 百三十一名

(日程概要)

日程配分上の制約により、

六日 AM十時受付、十一時

縦走、踏査と同一地域内で実

十三時半 踏査競技

施することを前提とした為充

十四時~十七時 登攀

分な岩場が無く、結果的に城

七日 AM七時半~十四時半

山北西面の小規模なスラブを

縦走競技、

使った。

十六時 閉会式。

初歩的な基礎技術の審査を

(選考結果)

重点として、比高十五メート

成年男子

ルを登攀とアプザイレンの一

籠島正、市川利夫(以上直

工程について、安全確認、パ

江津山岳会)、清野均(柿

ランス、リズム、速さ等につ

崎山岳会)、八補V古畑雅

いて審査した。

一(とーろっこ)

登攀は各パーティ二名の代

成年女子

表とし、トップには、フィッ

横山とみ子、岩片薫、中村

クスドロップにブルジックで

宏子、八補V今井博子(以

セルフビレイをとることを義

上直江津山岳会)

務付けた。

少年男子

角田徹(三条東)、速藤浩

二(新発田)、長谷川幸喜

第三十三回国民体育大会 山岳競技北信越地区予選会

昭和五十三年七月二十二日(土)
二十三日(日) 糸魚川市

杉本 敏

移年という事で、少年男子・少年女子の選手は各地区の予選会でフルイにかけられ、よ

り良き少数のパーティを本

番に送る事になった。今年

成年女子の競技も各地区予選

会を経なければならなくなり

ました。第二回北信越地区予

選会は長野国体への登龍門。

同地区で国体が開催されるた

めに、各種別とも長野(フル

イントリー)を除いた上位一

パーティだけが十月の戸隠

山系で行なわれる国体に出場

できるといふ厳しさである。

真夏の七月二十二日朝十時

選手が統々開会式場の糸魚川

市市民体育館に集合する。昨

晩から今朝と競技役員の打合

せが開会式始まっても続く。

各県三名選出の主任審判員が、

り、河岸段丘上には水前神社

競技種目では最も複雑、多量

といわれるルールに則ってい

々とあり、一段と高い上水道
タンクに登れば、日本海から
北アルプスの山々、姫川の流
れなど三六〇度の展望が楽し
める。展望遺跡等に熱中する

と所要時間が増すし、時間を
短縮すれば、コースの良さを
味わう事ができず、選手とし
てはコース設定者を恨む事

であろう。

茶臼隧道での登攀競技は生

憎の雨中競技となり、普段よ

り一層のチームワークが必要

とされる競技会となった。踏

査競技終了の少年男子・少年

女子が、将来の登山領域を眼

前で見学する様子は熱いもの

が感じられた。

一夜明けて連華温泉より風

吹大池迄の往復は、縦走競技

である。持ち時間はゆとりの

五時間。コースの2/3は平坦

で、一般登山者の数、役員の

配置は少なく、湿原帯でお花

畑の宝庫である。選手にとっ

ては、伸び伸びとした一日を

過ごす事ができた事でしよう。

成 績

成年女子

成 績

一位 新潟 二三・九点

二位 長野 二三・三三三

三位 石川 二〇五・四四

少年男子

一位 新潟 一六三・五五

二位 長野 一四七・七〇

三位 富山 一四七・三三

少年女子

一位 新潟 一六〇・四四

二位 富山 一五九・五五

三位 長野 一四〇・一〇

以上の結果北信越地区からは新潟も全種別イントリーできる事になりました。十月十五日〜十九日迄の長野国体本番では精一杯頑張ってきた下

第三三回国体本大会

五十嵐 正

第三三回国体山岳競技は、四種別三種目の完全実施により、二年後の得点種目移行の為の、リハーサル国体と言われた大会であったが、同時に、国体登山が登山の範ちゅうにスポーツとしての一つのジャンルを明確に定着させた大会であった様にも思う。

競技規定、審判、審判項目については、昨年の青森の経験が生かされているだけに、問題点の整理が進み、かなり定着してきたとみれるが、一方で監督と選手の接見が著しく制限されていることによる、選手の安全保障の問題がよりシビヤになるにつ

れ求められる審査の公平性の問題等、新たな問題点を掘り起こした大会でもあった。

監督会議で争点の一つとなつた審査の公平性に係るトラブルは、縦走競技審判の計量審査ミスに基づくものでありこの点に関し新潟県監督団として競技委員会宛に抗議書の提出を行った。

今後の大会に充分反映される事を望んでいる。

一方、選手の側から見ると今競技大会の結果を左右する最も大きな要因は、体力であった様だ。成年男子の縦走A₂コースでは、四五チーム中一四チームが完走出来ずに失格となつている。

長く厳しいコースは体力の評価の仕方としての意味で評価出来るが、運営面での問題は無いかどうか、今後の判断に注目したい所である。

登攀競技のパーティ毎の得点差が大きく開いたことは、登攀技術に各県毎に大きなバラツキのある事を示しているが、講習会気分に参加してい

たパーティもあった事等を絡み合わせて考えると、主催者側としてもっと安全対策をシビヤに検討する必要があることを、この結果は提起していると思う。

本県選手団は、成年男女共に縦走踏査でほぼ留飲を下げたが、少年男女は不調不運に泣いた。

監督としては、競技前から得点順位にこだわる事を極力さけて、練成の過程を重視した事を尽くすこと、経験した事を大切にすることを強調して指導を行ってきた。

今後も監督の最も大きな役割は、どう方向づけるかは別として、大会直前までの指導

練成にあるだろうと考えている。

○大会日程

一〇月一四〜二〇日

○会場

長野県戸隠山系(虫倉山・飯縄山・黒姫山含む)

○参加

成年男子四六パーティ、成年女子一五パーティ、

少年男子一六パーティ、少年女子一五パーティ、

計 三六八名

○成績

成年男子

(縦) 三位

(踏) 二〇位

(登) 二〇位

総合第一二位

成年女子

(縦) 三位

(踏) 二位

(登) 一四位

総合 第五位

少年男子

(縦) 七位

(踏) 一六位

総合第一三位

少年女子

(縦) 失格

(踏) 四位

総合第一〇位

○県選手団

成年男子

(監) 五十嵐正

(選) 籠島正、市川利夫、清野均

成年女子

(監) 柴木成子

(選) 横山とみ子、岩片 薫、中村宏子

少年男子

(監) 安野正弘

(選) 角田徹、速藤浩二、長谷川幸喜

少年女子

(監) 木間博

(選) 皆木幸江、弥田美

佐子、中村葉子

県予選会、北信越地区予選会、本大会と携さわってきて、私が重要と感じた事をまとめると次の様になる。

もし意が得られるならば、今後の参考として欲しいと考えています。

① 競技化(得点種目化)の国体ポリシーに対する新山協としての選手選考ポリシーを明確に定める必要のあること。つまり、得点を第一義とするか否かは県予選会の運営方法に直接かかわる基本問題である。

祭りの様であり、競技の様な、中途半端な指導は、純粋でストレートな現代の若者の心にフィットしない。

② 県予選会の運営体制の製備。

特定の人間にあらゆる面で極端に負担がかかり過ぎる点、長期展望に欠ける点の改善が必要。

協会の各専門部間の有機的結び付きも欲しいところだ。

最後に……

国体の監督などとても器ではないとの理由で辞退していたが、結局生き残ってしまった。要領の悪い人みずには苦痛であった。登山の本質云々の問題と国体登山との係りは選手の練成過程で大きな悩みの一つであった。

しかし、それでも仕事は終わった。仕事の結果が全てゴミ箱に入るものとは思っていない。何か昇華されたものが残っただろうと信じて疑がわな

前記の大きな悩みは消えてさわやかになった。この結果が前述①②項である。参加選手が「ベストを尽くした」「良い経験をした」

「良かった」と言っているのを聞く事は、私にとって無類の喜びである。

この機会を与えてくれた協会並びに関係団体、職域、の温い御理解と御協力に、この場をかりて厚くお礼を申し上げます。

特に県予選会に際し、並々ならぬ御努力をいただきました

婦人親睦登山

加藤 記代子

「良かった」と言っているの大地元町村と柿崎山岳会、関係各人には深く感謝申し上げます。報告と致します。

尚、第三回国体山岳競技参加についての詳細は「国体山岳競技参加報告」として取りまとめの上、新山協宛提出済につき、御検閲いただければ幸いと思います。

予ねて懸案でありました婦人親睦登山の実施を去る四月十五日、十六日二王寺岳において行なわれました。初めての試みで何をどのようにしてよいか、ときばきとした行動ができず、時間のロスを気に止めながら、まだ一面の雪におおわれた一王寺神社において十八時間会式の運びとなりました。

例えば、地図も読めない、荷物もかざせない、食事ごしらひもできないという欠点だらけの人もいます。しかし、人を楽しませることだけが得意という人もいます。それだけでも十分な戦力でありました。疲れたり、逆境にあったときなどどうですか。笑いを飛ばす人こそ大きな力になり、大事をメンバーの一員である。」という考えの一端を述べて挨拶をした後、サブリダーの紹介をし、引続

き日本山岳会越後支部長藤島 玄先生の講話をお願いしまして、一王寺神社神殿に席を移し、太鼓の響きを聴かずに、泉山岳婦人部の発展と安全登山を祈願して、開会式を終了いたしました。

十九時三〇分、下越山岳会五十嵐篤雄さん以下九名の暖い真心がこもった肉汁などの食事をいただきながらミーティングが催されましたが、座談会になり、宴会になりました。一杯くみかわす友の手と手がランタンの淡い光にほのぼのとし、参加者の顔はホロンでおりました。藪酒(アニンゴ、ナナカマド、ブドウ酒など)が食卓に添えられ、何年来の友であるかのごとく心が開き、にぎやかな雰囲気は主催者として、このうえもない喜びでありました。飲めや歌えの宴は、山麓に響き、突然春が目覚めたかのように感じました。

時を忘れ二十一時過ぎまで続きました。一段落すると遙々長岡から藤井信先生が女性二名を引率されてこられ、一

部の人々で挨拶に一杯と談話し調整をとりながら、九九四はつきぎ二十三日まで続き、四米のピークに辿る。風力五明日の行動を考え睡眠をとる。は肌にしみる。乱層雲、雲量翌六時、女子二十二名を三十はいつ悪化するか脳裏に心パーティーに分け、部長を先配のたねはつきない。静かに頭にラストの守りを越後ハイたたずんでいる平野を見詰めキングクラブの飯田武勇さん、ながら体調の悪い方の善処をむさび会の加藤明文さんにお願いで、男性十七名を含め三十九名元気に出発する。考慮し、休けいをとる。天気予報は、曇り時々雨と一面の雪はまだ美しさを保て、雑木はまだ顔を出す気配はない。九時二十五分、二〇二米附近に來ると高層雲に變化してきた。体調の悪い方をなんとか耐え、登山者の根性を示している。三王寺神社が見える頃には、雲量八になり薄日を見る。太陽の光がクラフトのなごりに反射し、まぶしさの中から喜びが沸くのを覚え三王寺神社に着く。参拝をすませると、すぐそこスギの巨木を数本かかえたが二王寺岳山頂である。飯豊小さな神社の前に、藤井信先生「団体のあり方」などの講話に二十分耳をかたむける。リダケが春の訪れを今かと風時折グラが大きな声で鳴き、力五になびいている。高層雲、自然の楽しさを味わう。雲量七、太陽に照らされ杉原胃の具合が悪いとのこと。八百樹さんに飯豊連峰を説明していただく。全員の顔は一人遅れが出る。ベースを落

きいきとしていた。ピークを少々下り風の当らない格好の場所ですべて全員で輪になり食事にする。飯豊連峰の深さを一本一本の沢すじから厳しく受け止められ、山岳の味が滲んでいて誠に気分がよい。一時間の休けいを三十分延長し、悠長に構えて楽しんでいた。調子の悪い方も元気になられ、チーフリーダーとしてこの上もない喜びである。十二時、飯豊連峰になごりをおしみ、辿った道を余興に雪上訓練などをまじえて、楽しんでながら無事下山する。直ちに閉会式を行ない、このたびの婦人親睦登山の任務を全うすることができましたことを関係者の方々に感謝いたしました。終了させていただきました。

自然保護事業

一 齊清掃登山

六月四日(十一)日の環境週間に、協会では清掃登山とし、自然保護、清掃活動を通じ公德心の向上を図り、一般登山者へも呼びかけPRを行ないました。それぞれの加盟山岳会が中心になって、ホームグランド、環境週間に計画した山行で、清掃とゴミの持ち帰り運動を展開したわけです

越後の旦那様

藤島 玄

一説に傷深く、若松城すできしへ案内し、仏壇から、贈られた引伸しの大きな写真と念して遂に自ら断つと、又曰書翰などを出して見せた。写く、天命を知り、宗益に命じ真は全紙上半身、長岡九里写眼薬を盛らしめ自ら命を断つ真館の台紙に「明治維新長崎と。三間川下の河原の桑畑でに於て撮影したるものを明治火葬にし、裏山の医王寺に納四十年天長の依命に複写した骨したと云う。元々八月十六日戦傷の為に歿したる当時の假宅先代の宗篤年十三歳、人夫の主人塩沢村矢沢宗篤に贈呈という。比の十月二日に八十五歳で病死して、今日はその初七日とて、新しき位牌を飾り、家中明け放ち出入人が慌しい。当主の伊織も令息の守この家は二十五畳の茶の間、台所は十五畳余。土間三間、婦らしきが出て挨拶し、「彼奥座敷十畳、仏間八畳に遺品方が河井先生の息引取りし部は硝子箱に納めてある。五十坪余の前庭があり、昨夏長岡

市の有志が終焉記念碑を建て除幕式を挙行した。今存命の令嬢根岸鍊次郎翁が涙声に語る下りが残っている。「河井の行動は天知る地知る」小千谷に駐する征東軍監と談判決裂となり、悲憤の涙を吞んで帰った際、ただ一言呟いたと。――河井はこうした処まで来て死ぬとは思っていなかった。血族達に会って当時の戦時病院四郎丸昌福寺で自刃する意志だった。この空気を察知した旧藩主脳部は、故意に肉親の者に面会させなかった。死に直面している河井が、八十里越の險路を戸板に乗せられて運ばれる途中の苦痛と、心中の思いは果してどんなであったろうか……。

この医王寺を護るは変り種の和尚である。俗名は三瓶隆治、年は五十二、三か。元は土木請負師で鳴らした気丈者だったが、子供に死に別れ、無情を感じて発心し、只見川礪の岩風呂で三年間人知れずお経を稽古し、二里川下の横

田の松前寺住職島田実岳師から得度を受けた。家内親類に反対され詮方なく昼は旅館の亭主で納まり、夜は川上二里を自転車で通って、無住の荒寺の住職に早変わりして無縁仏の菩提を弔うという奇特さだ。その後旅館を養子に任せ、この頃は医王寺に唯一人閉じ籠りがちだという。「何しろこ

の大寺にわし一人で、飯を炊いたり味噌汁を搾ったり、庭掃いたり、寺男から番僧役まで一切ですからなあ」それでも院の外は塵一つ留めず、常に村人に曰く「境内で紙屑一つ見つけたら千両やるぞ」と云っていた。寺の高欄など見廻して中原さん「大分立派になりましたねえ、先年来た時とは見違えるようです」と

感心すれば「いやはや苦心しました」と叩頭撫髪阿々大笑する。風吹く処を席で塞ぎ、雨漏る処に盥をおいた荒寺を、先ず藁を寄進させて畳を作り、土を運ばせて壁を塗り、内部を綺麗にしたが、それでも崩れ落ちた屋根根から月を見てい

たら、堪り兼ねた檀家一同が、屋根を葺かしてくれと願ったので大普請の屋根葺きを一挙にして済ませた、と云う。「今年の雪は五十年振りで、三丈四丈と降り続いて、十一間の六間あるこの本堂が埋っ

てしまっ、出ることもできず八日八晩というものはランブ灯して夜だか昼だか判らない籠城をしたが、食物が無くなって最後は断食となった。大崩雪で潰れたら仏持と一連托生をきめこむ覚悟じゃった肩をゆすぶって阿々大笑。青坊主に無精髪の大兵、さながら文覚上人か熊谷入道蓮生坊と云った風態である。これが異境に果てた河井継之助の菩提を弔う唯一無二の今道心である。

昭和五十年十一月二日磐梯山ゴールドラインを走り、慧月寺の遺跡を見て馬駐大塩温泉の岩崎屋に泊った。一行は会員森田健君の山仲間と四人。予定の湯倉温泉のお断りで廻っての泊りであった。翌朝も快晴、本名へ戻り霧来沢から三条を通り、八乙女滝から戻り大石田林道を御神楽岳の全容を見るまで登った。紅葉の最盛りの美観を満喫して三条の旧知栗田新吉家で昼食。只見川沿いに六十里越をすぎ、

栃尾、見附、燕から赤塚と一六号線を通って帰宅した。その朝、岩崎屋の当主三瓶徹哉氏から子供のとき中原さんから写真を写して貰ったこと、家の前の桜並木や河井継之助先生の頭影の話を聞いた。当時いただいた『会津御蔵入』の一節を抜書したが、中原さん余徳偉大なりである。中原さん、鈴木さん、古川さん一行の今は亡き足跡を偶然辿られて懐しい思いをしたのは嬉しかった。

日暮れて自動車で岩崎屋に帰る。元大審院長横田秀雄博士の「興日月争光」の額のあ

る二階の座敷で夕食を共にし、酔うほどによく語る松前寺様は、夜更けの霧深い只見川畔の二里余り、横田まで帰山し

て行かれた。

海外登山委員会では、五十三年度の計画として、海外登山を計画しながら、まとまらず延び延びになってしまいま

した。山行きも一段落した、比の時期に海外登山について集まりを持とうと思います。

協会事務局より連絡

海外登山

委員会より

望月 力

それは次の準備をしてからが良いのではないかと思います。

A 協会です事前に目的の山を選定、日程、費用等を検討したプランを発表して、希望者を募集する方法。

B 皆さんから各自の希望する山を、計画、準備してもらってから検討して、その後、いずれかのプランを決

定、実行に移す方法。

いずれにしても、日程、経費等の問題がありますので、皆様の御意見をお聞かせ下さる。

第20回全日本登山体育大会

(第35回国民体育大会)

山岳競技リハーサル大会)

栃木県の誇る日光国立公園 山々で、景観にすぐれた変化一日光山系にて記念すべきに富んだ登山が楽しめます。第20回全日本登山体育大会を 〇期日 昭和五十四年四月十九日(木)二十一日(日)開催することになりました。

登山の対象になる奥白根山 〇会場 国立公園 日光山系(二、五七八米)をはじめ男体山(二、四八四米) 大真名子山(二、三七五米) 小真名子山(二、三三三米) 女峰山(二、四八四米) などは、栃木、群馬、福島、新潟の四県におよぶ大な日光国立公園を代表するに問合せ下さい。

山を美しくしく

環境庁自然保護局長

我が国の代表的な山岳は、ボランテアによる呼びかけ近年急速に綺麗になってきまや清掃活動が活発になったこと、国、県、市町村などの清掃補助金が活用されるように

日時、会場については、後日お知らせいたします。多数参加のうえ御検討をお願いいたします。

しかしながら、関係者の努力にもかかわらずさっぱり改善のあとが見られないところも多く残っています。その双壁は、一つは富士山であり、もう一つは雪解けの北アルプスであります。富士山については、素人が一生の思い出に多数登ってみる山ですから最終的には何らかの規制に訴えざるをえないと思いますが、雪解けの北アルプスの汚染は選ばれた登山家、本物の山男が汚れていることですから規制に訴えて改善を図るのはおかしいと考えます。

そもそも登山者の汚したものを、ボランテアの善意や国民の税金だけで跡始末をすること自体が納得のいく話ではありません。北アルプスの冬山に登るような皆様は山を愛し、山の美観を保つ熱意にかけては人後に落ちることは絶対にならないと思います。わた

くしどもは、規制に訴える前に、皆様方が奥又白や岳沢などに空カンや不要になった糧食などを絶対に捨てないようになされることを期待します。これだけお願いすれば山の専門家のみによる汚染の問題などたちどころに解決するとは思いますが、もし今年の冬山においても事態が改善されない場合には、冬山登山名簿を頼りに、清掃に必要な経費を何らかの形で皆様方に負担して頂くというような方法も考えざるを得ないと思っております。

どうか、このような悲しむべき事態を招かないよう一人一人が注意して下さい。

谷川岳冬山登山の自主規制について

群馬県より

「群馬県谷川岳遭難防止条例」によって、谷川岳登山指導センターは、去る十一月三十日をもって規定通り業務を終了しました。十二月一日から二月末日までは、条例によ

り「冬山の期間は危険地区に登山しないよう努めなければならぬ。」と規定されています。

遭難防止に一層の御協力依頼が、群馬県知事より協会にきております。御協力下さい。

信州の冬山登山者へ 長野県より

わずかな油断が遭難のもと冬山の恐ろしさを認識しよう。昨シーズンの冬山で二十二名が遭難し、うち十名が死亡しております。このような遭難の原因としては、

- 〇冬山に対する認識の甘さ
- 〇登山計画の不備
- 〇登山技術の過信
- 等があげられます。
- 登山計画書は、十日前までに左記へ提出して下さい。
- 〇長野県警察本部外勤課
- (長野市南長野字幅下六九二の二)
- 〇目的の山岳を管轄する警察署

冬山の遭難救助は、時間が長くなり、多額の費用がかかるので山岳保険に加入してから入山して下さい。遭難救助には、1000万円を超した例があります。充分に注意して下さい。

第34回国民体育大会

山岳競技県予選会の

期日、会場が決る

○期日 昭和五十四年四月十日

○会場 佐渡弥彦国定公園

○種別 成年男子・女子

(角田山周辺)

○種別 少年男子・女子

(四種別)

○種目 成年男子・女子は縦走、踏査、登攀の三種目

少年男子・女子は縦走、踏査の二種目

走、踏査、登攀の三種目

少年男子・女子は縦走、踏査の二種目

高体連登山部の

活動状況及び動向

高体連登山部 増子輝男

すべて無事終了しました。間行事から報告いたします。

(1) 技術講習会 四月二十三日

二十五日、巻機山。男子三十校、女子十三校、計二五一名。雪上技術・救急法・救助

法など長岡ハイキングからの外部講師も招いて成功裡に。

(2) 春季地区大会。A・Bブロック(主に上・中越)は五月十一・十二日、駒ヶ岳で。

男子二十三校、女子十六校、計二五一名。

Cブロック(主に下越・佐渡)は五月十二・十三日、組倉山。この大会は「会津の山につど

男子十三校、女子四校、計一六八名。

春秋の大会は登山本来の性格から表彰はしていない。

(3) 総合体育大会兼全国大会 六月六・八日、浅草岳。

(5) 秋季大会。九月二十八・二十九日、谷川連峰。男子三

十四校、女子十六校、計三〇一名参加。土樽をベースに男子は茂倉岳―武能岳―蓬峠、女子はその逆コースで出発したが、登山道に入って間もなく共に地峰に襲われるハプニングがあり、その後強風雨のため縦走は断念、夫々茂倉、武能から引き返した。

(6) 国体関係。県予選は五月六・七日、米山。男女共参加率はよくないのですが、男子は新発田・三条東・新潟工業の混成チーム、女子は三条東の単独チームが選手され、七月二十二・二十三日の北信越予選を共に一位で十月十四・十八日の長野国体で活躍。

第二に現況及び動向ですが、生徒に関しては、高体連登山部加盟六四校中、常時前記の行事に参加しているのは男女あわせて約四十数校。その他は同好会あるいは休部に近い状態のようです。これは現実の状況です。これは現実の状況です。

(4) 地域的に盛りあがりつつある顧問の海外遠征に対して支援する(主に精神的に)。

で、部員数が減少し活動が質量共に低下しつつあるためかと思われ、又一方では特に若い顧問の極端な不足(これは全国的傾向のようにです)が関係しているように思われます。次に顧問の動きについては、十一月月上旬の顧問会議の主なところを紹介して御諒解いただきたいと思ひます。

(1) 「技術講習会」を「総合体育大会第一次予選会」と改称、春山の技術向上をねらいとしながらも一層の発展と位置づけをねらう。

(2) 昭和四十七年新潟県高体連登山部編纂の「高校登山の手引」を改訂増版(千部)し

(3) 高体連登山部には総合体育大会優勝旗がなく淋しいので、それに代るものとしてビッケルを男女用二本(持ち廻り)顧問会議の名で贈り、励ましとする。

(4) 地域的に盛りあがりつつある顧問の海外遠征に対して支援する(主に精神的に)。

で、部員数が減少し活動が質量共に低下しつつあるためかと思われ、又一方では特に若い顧問の極端な不足(これは全国的傾向のようにです)が関係しているように思われます。次に顧問の動きについては、十一月月上旬の顧問会議の主なところを紹介して御諒解いただきたいと思ひます。

尚、この顧問会議では、文部省登山研修所の講師などをつとめておいでになる東京女子体育大学の伊藤堯教授をおまねきして「山岳遭難と法的諸問題」の講義を戴き、顧問教師として追求される責任問題を研究しました。

第三に日山協公認指導員の件についてですが、現在部内の有資格者は九名（ほか、目下顧問をしていない教師三名）

受検中四名で、顧問総数約一四〇名中僅かに一割前後といった状況です。これは指導員制度が国体登山の得点競技化と強く結びついていると考えられる点に、疑義を抱く顧問が少なくないためかと思われ

からは、指導員検定の内容はすべて安全登山の基本技術・知識なので、これらを身につけることによって今後の指導が更に充実強化され、結局は生徒の安全登山・高体連登山部の一層の発展のために寄与するところが極めて大きいと

考えられますので、次第に受検者はふえてゆくと思われま

これは加茂山岳会と地元高校登山部の間にもみられますような緊密な関係を結んで下さり、（金の卵の）高校生を側面から御指導ご鞭撻して戴きたいという事でありませう。いろいろ困難な条件があるとは思いますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

上越岩登り協会

韓国雪岳山へ遠征

上越岩登り協会では、隊員三名で韓国太白山脈、雪岳山（二七〇八米）のバリエーションルートからの登頂を計画

無題

越後三山岳友会

小倉政義

自分を振り返り登山というものを考えて趣味を越え生活の一部にまで入り込んで来る山の魅力。人生を左右するまで思い込み、そして自分の全てをぶっつけてそして山を知る。しかし、偉大なる自然に立ち向かうには技量以前のこと

おくやみ

新山協加盟山岳会である、越後山岳会の中心的リーダーの山田努さんが、谷川岳一の倉沢ニルンゼF4上部で滑落。また、新潟交通山岳部の渡

山を通じて良き先輩、友人を助けた事は自分は幸福だと思

あとがき

山をこよなく愛している人といわれる人達の領域である、冬の北アルプスの雪消えには、捨てた空カンや屑で山は汚染され、環境庁では今後